国立公文書館
National Archives of Japan

内閣文庫
書號 和 28137
冊數 18 (2)
函號 201 528

内閣文庫
和書
二〇函一三七八冊 類號

和書門
一八八二 架函 二六三七 號

北條記

巻秋 下

長秋詠藻下

雜部

明治十三年第廿九

保延元年七月九日夜人々
とゝのへよとのたまはせ
ければ墓所にまいりて
歌ども
ちはやぶる神のまもりの
保延元年ゆふ
しでは稲荷
ゆふしでの
海ならぬ
日比こゝろ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うへし

おゝ代まゝと白んやまと花の色のくとゝきすみよ

又世の

見えれぬ葉ちりぬゝ花のまゝ雪みまゝりさみ花の雪

うへし

ゆゝつを長をそゝ山ハ雪ハ雪の海とゝひとゝをよ

又

川さむゝ紅葉ぬ本花りゝよもみ葉ハ雪くれ

うへし

花まゝ葉花ぬよあぬまゝゝみぬ葉流

又

水の花月ん花ゝめ花ゝ月ゝ花ゝ海ゝ

うへ

花池ゝ新ゝゝ月ゝ月ゝ月ゝ月ゝ

又

ゝゝゝ月ゝみゝゝゝゝ花池水ハゝゝ海ゝ月ゝ月ゝ

うへし

ゝゝゝゝ

みくまのゝ月のかげ
をなかめいてゝ
ゝ法院ゝ
てれぬるよゝ
月やゝゝ
水ゝ
いまゝゝ
を未院ゝ
又ゝ日ゝ
けゝゝ
ゝゝ
つゝゝ

ゝ法院ゝ
秋ゝ
おゝ
ゝゝ
ゝゝ
ゝ女院ゝ
沖遺
ゝん
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

入道大納言

[illegible]

同十日ごろ御[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

師仲

[illegible]

[illegible]

[illegible]

譬喩　其中衆生　悉是吾子
[illegible]
信解　無上寶聚　不求自得
[illegible]
菜草喻　無有彼此　愛憎之心
[illegible]
授記　於未來世　咸得成佛
[illegible]
化城喻　以大慈力　度苦惱衆生
[illegible]
第子　世尊於長夜　常愍見教化
[illegible]

人記　雨冷水無有量　以題[illegible]
[illegible]
法師　衛見法古法　安定知道水
[illegible]
窮子　若皆持者　我即歡喜
[illegible]
授學　採薪及菓蓏　隨時恭敬与
[illegible]
勸持　我不愛身命　但惜無上尊
[illegible]
安樂行　除入　禪定　見十方佛
[illegible]

涌出〻 従地而涌出

世尊乃唱言〻 如来滅不滅

令彼功德〻 若坐若卧切 除睡常精進

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

男沈[illegible]乃法[illegible]てゆく
[illegible]
彼[illegible]天ハ[illegible]の地を[illegible]く進りし香像白
香像此等乃大士[illegible]他遇を
[illegible]

日中時

他方界より[illegible]ハ[illegible]飲食給りを
[illegible]
飲食早[illegible]起て給りをん七宝樹
樹乃[illegible]一実想乃現を[illegible]ハ功德池の
[illegible]世界[illegible]滅乃義を唱へ
[illegible]

[illegible]て世界[illegible]や池水[illegible]
或ハ宝樹[illegible]乃[illegible]他方界をみん
[illegible]

日没時

金色世界[illegible]利菩薩より来[illegible]
[illegible]
或国界より白銀[illegible]大士
来[illegible]
白[illegible]
或国界より[illegible]
薩陀[illegible]国出家乃形[illegible]
来[illegible]

[illegible]
毗舎離城より給孤長者園に来給ひ
[illegible]
時に大衆法を聞て涙を流し歓喜踊躍する輩
時に[illegible]
いろいろ[illegible]
[illegible]
初夜時
見仏聞法事早く成乃浄土へ！
成八金乃色地中金乃浄土のみと成八極
楽乃国の上浄極浄土乃[illegible]
[illegible]

中夜
東乃境界[illegible]
乃人々[illegible]
[illegible]
[illegible]
後夜
暁到る後乃[illegible]
歓喜[illegible]
[illegible]
[illegible]
見仏聞法縁起八代地と諸者親有

[illegible]

人乃帝二示給信春〳〵乃時序示乃

[illegible]

又南乃示乃一示給よす仮示乃其志恵門

非解非入乃人紙[illegible]

[illegible]

譬喩示乃号曰花光如来乃人紙

[illegible]

今此三界皆是我乃其中衆生悉是吾子

乃[illegible]

[illegible]

乃同法師[illegible]

巻〳〵毎八倍紙[illegible]一示給紙

文志三界皆是[illegible]文紙人〳〵[illegible]

[illegible]

[illegible]

いひ伝へ
同流法門五十余年乃至
寂莫無人聲　我今時為現
清澤光明
又人乃至一不知師恭敬
法然聖人　隆寛
又人乃至一不知師恭敬
信解　正行
信解　正行
信解　正行

況皆是佛法乃至佛法乃至
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

述懐道世[illegible]

[illegible]

撰集[illegible]

[illegible]

[illegible]

安元二年[illegible]九月廿日[illegible]

[illegible]八日[illegible]

[illegible]

[illegible]

右大臣家百首

立春

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとをんむろの八ゆとやとよりをとの物とをよりをんん

也

をよとろまををを

[illegible]

八月雨

[illegible]

八月雨みかうそれ[illegible]

[illegible]

[illegible]

八月雨[illegible]

過不[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月

月八秋あさは月ゆゑ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

祝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さくさくしかれとしかれ山まさきそへていはひしりちかの玉民の為

若の色

秋はまけ散はすゝと散れさう地れもそ咲うしめうう
分まつ[illegible]ゆまるのくゝ女郎花秋れつまくらみすゝ[illegible]
いくゝや袖はまわりのへよあてしゝ秋れもみすゝ
小萩咲のへとそ人分栖まそちはやくゝおうんくゝん
あくゝや方けさのへよ三蕨れはもよくゝ萩花り

接

みゝ海よくゝさみのへよ海山と秋れかはそ陸よ
日数り芋れ松とゝそゝ方とくゝそゝうくゝよれ中山
芝形り池ゝ海くゝ紀れ方とく袖よ陸ゝひくゝり
陸ゝくゝ陸ちくゝやけくゝさ月とみてやそんやとくゝり

あくゝ人あり火くゝやくゝひはわそすくゝよ袖はゝくゝル

名葉

源ゝくゝ物紙みてそ山くゝ秋ゝくゝる日とくゝくゝ
やくゝれわ海くゝわてやくゝ三田奴秋れ名葉れ人とくゝひら
ゝくゝやものみちくゝすん三田山伝ゝ袖海よりれ人の
秋ゝくゝくゝ海葉れ山くゝとみちくゝわ石とゝ袖海よそりと
三ゝくゝれ秋ゝものみちくゝやれくゝりの山へよくゝくゝ

述懐

くゝくゝそゝけくゝれ末とゝけくゝ寄とあてそくゝよへくゝり
さめて世ゝ山色ゝくゝくゝゝ袖くゝくゝれ袖とくゝ海とみくゝ
とゝ秋ゝれやくゝくゝれ海ゝ世ゝひくゝくゝれよくゝ
三日袖れとくゝれ海の袖水まくゝよ袖れくゝあ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

安示行品

不親近諸外道梵志尼乾子等及世俗

文筆讃詠

[illegible]

出称氏宮去伽城不遠

[illegible]

普門品

受其瑞路分作二分

[illegible]

訪發示

法東方来示諸國普皆震動而[illegible]

[illegible]

千五百番哥合之百首　　右方　沙弥釋阿

春二十首

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大井川の水の流れてくるかぎりは絶えなん

右十首判者五位侍従大臣隆有　勅定去年薨逝故無別

八月の月の出ぬるかたをながめて

月の海のやまの山ぢをんとしてくるかぎりは夕霧ぞ

大井川かりそめにのみ思ひしを

山の井の水むすびてぞ

滝の音ぞ

秋二十首

ながらへて秋のなかばの月をみる

ほのぼのとあけぬる空の月の海

七夕のあはれをかけて秋の雲

夕月夜ほのぼのとあけぬる

月

萩の花散ぬるかぜの

月

名にしおはばいざこと問はん都鳥

月

紫の色にぞ秋の

月

もとの宮ぎのいとなつかしき

月

忘れじ

月

あれはてし秋の庭こそ

月

秋の夜の月

月

秋の月ひとりぞ

月

人ぞ

月

月ぞ

月

萩の花散ぬるかぜの

月

秋の月ひとりぞ

月

人ぞ

月

月ぞ

[illegible]

冬十文字

[illegible]

[illegible]

[illegible]

若の代を日高神社に移したる時は
行宮社に移すべきなり
寛永十五年の
悲しき歌
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

崇德院殿御[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大納言乃れ[illegible]

權大納言[illegible]家[illegible]れ[illegible]

和[illegible]

[illegible]

[illegible]

為後ト尺ものを何の書るれて之ものを行ふ之
[illegible]
又おくの乃ものを
[illegible]
この色乃ものをわるものを
[illegible]
門の[illegible]
[illegible]
[illegible]

さて京人乃和歌ゆゑ
[illegible]
きつの乃日ゆのちむとそれらんあわ
とすう[illegible]
てゆわのりとわいとれわる

中将

さやつとうらるゆゑ
[illegible]
ゆゑ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

日よりて色々宮井物ゑ[illegible]
のへ
[illegible]
[illegible]
[illegible]十一月[illegible]
[illegible]
[illegible]

子ノ刻小倉山野ヨリ鹿ヲ追ヒ出シ
ケリ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

あるやうにてあり人家よりとりてあり
後をひくやうにて花あるめるを折りて孫にもたせ
人家の庭よりそこにこそ折りて
宿りよりさらにかなしきこと
六月
山井に過ぎぬ人くく納涼するあり
さて四月ばかりより山井にまことに人
のへのこころにて夏なるをもてさて
なりさのへにさゆりとはなりて秋に花ゆりの花
何過ぎぬ六月ばかりにて
京うさめにてあるみをさよりいつかの代をあつ
七月

山野并に人家秋風吹うて花ばかりあり
花のみにてはなのつゆにて
池のひさりよりひそかにあり
みなりとあり
法人のちりにもはなはよりあつ心とのへすみなる
去日山より麻あり
去日山より月より花のみにて
八月
人の家池よりくく秋月
池水よりのかさ月ばかりにて
あり坂にはなはよりあつ心ばかりにて法人
貴みの世よりあり坂山花にはなはよりあつ

田ばたの人家あるに
秋は田のかりこもにかこまれ
九月
わが山中さとにひとりすむ仙人元
とみち
仙人はたゞ独自にさとりをひらき
山野并人家よりみちさとりをもとめ
放不
為みづからおこなひをみがきとれわつかに
海のりりと旁立ちるに
毒はたゞ秋のあるやうにとあて旁立
十月

海人はたゞわれわれまよひ消ちとおれ
雲はあわれたゞちりやすきひてこれたゞ代なること
わがうへにあつまるなかれ無為なる
紙をはやそうら何はのうあるいとまなくさん
江海は通ゝ苦しうりけて不行ありり
ちうちうと旁人のみはりきえうあはつ氣
十一月
大雲はまのはれ
しゝ女子のもはものひとりえ海てしてあるとと光をへうる
賀茂はは卍んはまつりしの山はは外
乃何ことさ
月ゆみさと川は数へて氷はとはる山のはは

[illegible]

十二月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かくてはつかまりてなすこと
ゆゑなしとてとかうかの物
とりあつかひ二月十六日にまんぐわん物
けり彼二人先年よりさうのうさおぼく
よみそうらふ
新しく八色姓の表をさうらふ皇后
くらゐとりあつかひのこと
つゐに二月十六日所司代にわたしけり
こと新しくそうらふてうさつけ
けり
所のひとびとそれぞれとりあつ
かうそうすべきうんてんなり

国立公文書館
National Archives of Japan